

## 【放送大学千葉学習センター／インタビュー】 新所長・高橋浩之さんに聞く。学びの原動力と目的とは？



放送大学 千葉学習センター 所長／高橋 浩之氏

今回は、2024年4月から千葉学習センターの所長に就任する高橋浩之氏をインタビュー。山形大学と千葉大学で35年以上にわたり健康教育学を研究してきた高橋氏の生い立ちや経歴を振り返りつつ、放送大学に所長として着任した現在の心境などを伺った。

### 北海道に生まれ、昆虫学者を夢見る少年時代を過ごした

「東京大学の3年次から健康教育学を研究してきましたが、小学生の頃は『僕は昆虫学者になるんだ！』と言っていたのです」と、にこやかに自身の幼少期を振り返る高橋氏。千葉大学教育学部長を退任した2018年から面接授業「リテラシーとしての公衆衛生学」を担当し、2023年からはミニゼミ「保健の授業を学び直す」で教鞭をとってきた。

『有楽町で逢いましょう』『東京だヨおっ母さん』といった歌謡曲が流行していた1957年、高橋氏は北海道東部の小さな町で生まれた。「網走と釧路をつなぐ釧網本線のほぼ中央に位置する熊牛原野という土地で生まれました。道内の人に地名を言ってもあまりピンと来ないくらいの田舎です(笑)。そんな所で伸びやかに育ちました」。

町には大きな製糖工場があり、高橋氏の父親はそこで働く技術者の一人だった。社宅のまわりでクワガタやトンボを採集しては、虫かごの中で大切に育てていたそう。「父の会社では、北海道で栽培したビートから砂糖を作っていました。小学校の1/3くらいの児童が私の家と同じように社宅住まいでしたね」。その後、父親の転勤にともない小学4年生の時に横浜市へと転居。東京学芸大学附属世田谷中学校に進学すると、かつての昆虫少年は化学や数学に没頭するようになっていた。



### 得意科目は化学と数学。その根底には父親の影響がある

東京学芸大学附属中学校・高校時代の6年間はサッカー部に所属し、勉強とサッカーに明け暮れた日々。この頃に得意だった科目は、数学や化学だったそう。「単純です。授業の面白い先生が数学や理科だったからです。決められた公式とその応用で問題が解ける数学や、法則や事象をじっと観察する化学は高橋氏の性格に合っていた。自身はその理由について、父親の影響があるのではと分析している。

「高橋家ではたびたび家族会議を行っていました。『朝食の時に父が新聞を読むのは良いか、悪いか』など、日常で起こる何てことない議題です。両親と私、そして弟が平等に発言し、意見することがルールで、私たち兄弟は議事録も取っていました」。技術者だった父親は常に理路整然と話をするタイプで、高橋氏が今でも鮮明に覚えているのは風呂場で手ぬぐいを絞る強さについて議論したこと。「体を拭いた手ぬぐいをきちんと絞ろうと父が言い出しました。お前の絞りは甘いというわけです。大人と子供では力の差もありますから、私は『そんなの乾けば同じだ』と反論しました」。その日の夜、高橋少年の絞った手ぬぐいを手にした父親。絞った水を洗面器に入れると、かすかに濁っていた。『確かに乾けば同じだ。しかし、この濁った水が手ぬぐいに残るのは不衛生だと思わないか？』と言うのです。それ以上の反論は不可能でした(笑)」。

高校に進学してからも化学への関心は増す一方で、高橋さんは有機化学の知識を深めるため東京大学の理科二類を受験。1976年に入学後、しばらくして学問に対する大きな転換期を迎えることになった。

### エアロビクスとの出会いが、その後の研究人生を決めた

東京大学の1、2年次は「文科一～三類、理科一～三類」と6つの科類に分かれて一般教養を学び、3年次からは成績に準じて希望学部に分けられるシステムだ。高橋氏は理学部に進むつもりで入学したが、「化学や数学が好きと言っても、真面目に勉強をしていなかったことの“つけ”が東京大学に入ってから露呈しましてね。講義についていけない。成績もギリギリで。おまけに一般教養の理科系の授業がどれも退屈で(苦笑)。高校まで大好きだった化学への熱量がどんどん下がってしまいました」。

高橋氏は常々、学ぶことの原動力は楽しさやワクワクする心であると語る。一般教養課程で受講した体育科のエアロビクスに関する講義が、その後の高橋氏の人生に大きな影響を与えた。「エアロビクスとは有酸素運動のことです。70～80年代にかけ、アメリカで問題となっていた心臓病のリスクを抑えるため、食生活を改善するとともに有酸素運動を取り入れようというブームがありました」。強い負荷をかけるウェイトトレーニングのような無酸素運動よりも、ジョギングや水泳、サイクリングといった有酸素運動こそが健康な体を生むというエアロビクス理論。その第一人者と言われているのが、アメリカの運動生理学者であるケネス・H・クーパー氏だ。

クーパー氏の著書を読むなどしてエアロビクス理論を学ぶにつれ、高橋氏の中で健康教育への興味が日増しに大きくなり、3年次は体育学健康教育学科に進んだ。「私はもともと理系に強い方でしたので、健康教育は合っていたと思います。例えば『喫煙者は非喫煙者よりもガンの発症リスクが1.6倍である』など、この研究分野には統計データの利用が不可欠ですからね。数字を用いて物事を整理し、課題をクリアにしていくという点が、長年研究を続けてこられた理由だと思っています」。



### 学生教育研究災害障害保険

- 学生教育研究災害傷害保険とは「加入者である学生が教育研究活動中に被る事故に対する保障を目的とした保険」です。
- 放送大学のすべての種類の学生が加入することができます。
- 保険金額は学生教育研究災害傷害保険が100円(6年間有効)です。
- 通学特約はプラス40円(同)です。
- 放送大学で授業となるとあまり頻度は多くありませんが、ゼミへの参加や面接授業、そして研究のためのフィールドワークに資料収集など研究活動を広く行うことがあると思います。
- 加入を希望する方は、学習センター窓口へ学生証と保険料を添えてお申し込みください。

### 放送大学の学びを通して、人生はもっと豊かになる

大学院を修了後、健康教育学を専門として山形大学と千葉大学で、主に養護教諭や保健体育教員の育成に携わってきた高橋氏。2018年からは放送大学の面接授業を担当するようになり、あることに気付いたという。「放送大学はやはり学生の年齢層の幅広さが他の大学との大きな違いです。面接授業で学生さんに質問を投げかけたら、ある高齢の学生さんが『はい！』と挙手されて。自分の考えや経験談などを熱く語り出すのです。自分の考えをお持ちで、それをきちんと表現する強い信念があることの流れと、とても感動したのを覚えています」。

「興味のある分野を深めることが楽しい」「学ぶことが面白いから放送大学に通う」。そういった放送大学の学生たちの声は、高橋氏が思う「学びの原動力は楽しさやワクワクする心」に通じる部分がある。働きながらも、子育てをしながらでも、あるいは第二の人生をスタートした後でも、学びたいという人すべてに門戸が開かれた大学だ。



最後に、放送大学への入学を考えている読者に向け、高橋氏からメッセージをもらった。「放送大学は、各分野で一流の見識を持った先生方の講義を受けられます。まさに知識の宝庫と言っていいでしょう。私自身もここ最近では政治学に興味を持ち始め、いくつかの授業を視聴しています。学ぶことで毎日の生活にワクワクが増え、人生はもっと豊かになります。ぜひ私と一緒に、放送大学で学びましょう」。



### <プロフィール>

高橋 浩之／たかはし・ひろゆき

1957年、北海道川上郡生まれ。東京大学大学院を修了後、長年にわたり山形大学および千葉大学にて健康教育学などを研究。2024年度より放送大学千葉学習センター所長に就任。千葉大学名誉教授。

(文 吉岡啓雄)

## 心理学 Psy

### カウンセリング研究会

＜大学公認団体＞

内容：毎月の定例会ごと、単発のテーマを設定し学習。机上の学習だけでなく、演習を重視。また不定期で展覧会等の見学、座禅等の体験学習機会を設けている 活動日：毎月1回日曜日14:00～17:00 会員数：15名程度 会費：年会費無し 連絡先：福森 happyforest21c@gmail.com



### 心理臨床研修会

＜大学公認団体＞

内容：創作コラージュ療法を中心に毎月定例研修会を開催し心理学の学びを深める一方、卒業まで仲間と語り合い楽しく学ぶ場を提供。ぜひ一度一緒に体験を！ 活動日：毎月第2日曜日及び第3土曜日に研修会 日曜日10:00～16:00 土曜日9:30～16:30 会員数：約50名 会費：研修会区分に応じた額 連絡先：岡村 090-3475-7241 FAX 050-3586-8773 t-okamura@dream.jp

## 音楽 Music

### アンサンブル倶楽部

内容：千葉学習センターラウンジにて年数回ランチコンサート。使用楽器リコーダー(ソプラノ、アルト、テナー)フルート、ピアノ、バイオリン等 活動日：月2回(平日又は週末) 会員数：10名 会費：なし 連絡先：高橋080-5009-2400

### 千葉合唱サークル(混声合唱) <大学公認団体>

内容：”響きとハーモニー”、みんなが楽しく、そしてお聴きいただく方々とも感動を共有できる合唱を目指しています。一緒に歌ってみませんか。活動日：毎月第1、3日曜日 13:00～15:30 会費：2500円/月 連絡先：sakuma1146@nifty.com HP: 放送大学千葉合唱サークルで検索。

### 宮野ゼミ

内容：一人一人の歌声を磨きながら、個々の音楽性を高めることを目的として活動します。練習曲は歌いた曲を個々が選曲。活動日：火曜10時～16時 費用：レッスン費・楽譜代・発表会費などの実費 会員数：7人 連絡先：佐藤 keikosatto@gmail.com

### 放送大学軽音楽

＜大学公認団体＞ 内容：毎月2日間セミナーハウス研修室、千葉学習センター講義室、千葉市コミュニティセンター等で練習をして、千葉学習センター秋祭り等で発表をしている 活動日：毎月第1日曜日と適宜土曜日、日曜日、祝日の内の1日 12:00～18:00頃 会員数：12名 会費：半期2,000円 連絡先：岡 oksunpiano@yahoo.co.jp 090-9366-7834



## スペイン語友の会

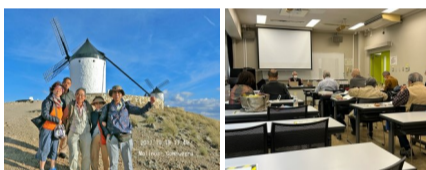
＜大学公認団体＞

内容：毎月の例会では、スペイン語圏の歴史・文化をもっと知るため、柳沼先生(神田外大名大学教授)によるスペイン語の特別講義の他、自主活動として小説の講読を行っています。活動日：毎月第2火曜日13:00～16:00 会員数：15名程度 会費：入会金2,000円 参加費：1回1500円 連絡先：末富 080-4095-5735 qui.suetomi@gmail.com

## 外国文化 Foreign Culture

### ドイツ語 (Deutsch) 学習会

ドイツ語は、ドイツ、オーストリア、スイス、ベルギー等の公用語であり、EU諸国では最大の言語です。約1億人がドイツ語を使っているといわれています。私たちは、ドイツ語圏の文化的かつ歴史的側面にも触れながら楽しくドイツ語を学んでいます。活動日：毎月第2火曜日(13:00～16:00) 場所：千葉学習センター(講義室) 教材：「まいにちドイツ語」応用編(NHK出版)(事前に担当者を決め、文構造を確認しながら訳出しています)教材はメンバーで話し合いながら決めています。(連絡先：小竹敏弘 メール：mogukotake@ybb.ne.jp)



## 石ひろいの会

＜大学公認団体＞

内容：岩石学を中心に地学の学習。顧問の廣井美邦先生のご指導のもと、偏光顕微鏡により鉱物薄片観察や野外巡検での岩石採集などを行います。見学大歓迎！ 活動日：月1回程度、実験室での偏光顕微鏡観察・発表・学習会。年1、2回程度の野外巡検そのつど、皆で日程を合わせます。 会員数：12名 会費：なし 連絡先：太田 machiko-glass@outlook.jp



※長瀬巡検時の写真

## 科学 Science

### 千葉学サイエンスカフェ

内容：がん・糖尿病などの健康・病気、地球温暖化、インターネット、人類の起源、コロナ、地政学、デザインなど、サイエンス全般なんでもOK、逸脱もOK。参加者が自分のテーマを話してわいわい議論して交流するサークル。最近Webサークルを実施中。活動日：毎月第3水曜日13:30～16:30、現在はSkypeによるWebサークルを実施中 会員数：14名 年会費：1,000円 連絡先：伊草 igs.oowada1121@ae.auone-net.jp



## 美術 Art

### 書道クラブ 翠乃会

内容：小田原翠浦先生のご指導のもと、書を通じて会員間の交流を図っています。楷書、行書、草書、臨書や条幅等の稽古。初心者大歓迎！随時見学可！一緒に墨の香りの中、筆を持ちませんか？書道はユネスコ「無形文化遺産」への提案決定されました。 活動日：第1または最終火曜日10:00～13:00 会員数：6名 入会費：500円 会費：6500円(3か月分、教材費込み) 連絡先：大川内 nana10o3po@yahoo.ne.jp



### 若葉スケッチ会 <大学公認団体>

内容：野外に出掛けて、水彩画のスケッチを楽しみ、作品は、千葉学習センターに展示しています。年1回合宿旅行(2泊3日)でパワーアップ 活動日：毎月第1金曜日10:00～16:00頃 会員数：18名(うち女性10名) 会費：年会費1,000円 連絡先：石田 047-454-7304 yuchy\_ishida@yahoo.co.jp

### 木彫会

内容：木彫による仏像づくりをしています。日々のうつろいの中である日ふつと仏像を作りたいと思ったことはありませんか？ある女性の活動歴は4年目です 会員数：7名 会費：なし 連絡先：田中 090-8841-5700 ohta2@jcom.zaq.ne.jp



## スポーツ Sport

### テニスサークル テイクバック <大学公認団体>

内容：両曜日とも、午前中は基本的練習(ストローク、スマッシュ、サーブ等) 午後は試合 活動日：毎週水曜日、金曜日9:00～16:00 会員数：27名 会費：月400円 連絡先：国吉 090-1544-1912

### テニス同好会 若葉 <大学公認団体>

内容：土曜日の午後、基本練習とゲームで汗を流し、健康的なスポーツ、テニスを楽しんでいます。 活動日：毎週土曜13時30分～15時30分 会員数：14名 会費：年間1,000円 連絡先：嶋田 masa.shimada50@gmail.com

### テニスクラブ コスモス <大学公認団体>

内容：毎週火・木曜日の午後、基礎練習後ゲーム形式のプレーを行います。また、テニスを通じて会員相互の親睦と体位の向上を図る 活動日：原則、毎週火曜・木曜日午後が定時活動日 会員数：28名 会費：年会費2,000円 連絡先：菅藤 hiro.kanto@mvp.biglobe.ne.jp

### ソフトボールクラブ <大学公認団体>

内容：未経験者が多いですが楽しく練習しています。千葉市ソフトボール協会の3部リーグに加盟しており春と夏の公式戦や他チームとの練習試合もあります 活動日：毎週土曜日と日曜日、10:00～12:00 会員数：18名 会費：3,000円/年 連絡先：岡部 okakatu3@yahoo.co.jp

## 古典 Classic

### 地方文書の会

新潟県十日町市稲葉公民館が所蔵する、江戸時代から明治・大正にかけての古文書類を現地調査、翻刻して、「雪」と「稲作」にかかわる農村集落史の掘り起こしに取り組んでいます。【活動】公民館所蔵の古文書類の翻刻、資料収集、現地調査など。【活動日】毎月2回(会員例会&顧問参加の可能日)20:00～21:00 【会員数】8名 【会費】入会金1,000円、月会費500円 連絡先：児玉 090-6545-2235 koichi1690mm@yahoo.co.jp



### 古文書を読む会 <大学公認団体>

内容：近世の武士日記を題材に古文書講読を行います。文章内容が率直で面白く挿絵も楽しい歴史資料としても貴重なものです。他に「江戸歩き」日記の現場検証や日記を書いた武士の地元調査などを行います。写真は神楽坂から四谷見付までを探訪した際のものです 活動日：毎月2回(第一・第三火曜日)に講読会 月1回(適時)に「初心者会」など 会員数：約20名 会費：入会金1,000円 年会費4,000円/年 連絡先：野口 090-1464-4501 akira.noguti@honey.ocn.ne.jp

## コミュニティ Community

### 海洋クラブ

内容：海の楽しさを紹介します。クルージング、SUP、海釣り、料理教室、南房総マリナ宿泊、勉強会等 活動日はそのつどLINEに掲載してお知らせいたします。 会員数：10名(内女性2名) 会費：1,000円/年 活動によって別費用あり 連絡先：木下 tesshu73@gmail.com



### RENT(介護・SNS技術学習サークル)

本会は、現役介護士を中心に学ぶ介護部門・知識0からメンバーで、チームとなり作品作りなどを通じSNS技術を学ぶSNS技術部門の2つで、活動します。新しい挑戦をしたい方ともに新しい一歩を踏み出しませんか？ 連絡先：rent561@outlook.jp 代表：宮原

### シニアライフ研究会 <大学公認団体>

内容：毎回担当会員が1時間前後のプレゼン、その後白熱の討論(古今東西、森羅万象を議論する楽しく愉快で有益な会)他に経済研究会など分科会開催 活動日：毎月第1金曜日10:00～16:00 会員数：11名 会費：3,000円/年 連絡先：野上 hnogami@cure.ocn.ne.jp

### 放送大学千葉同窓会 <大学公認団体>

内容：①通常総会 ②研修・親睦小旅行 ③卒業研究・修士論文発表会 ④語ろう会 ⑤会報発行 ⑥放送大学叢書販売・バッジ販売 ⑦同窓会連合会事業へ年間通じて参加・協力 活動日：第2火曜日(変更もあり)10:00～12:00 会員数：1,049名 会費：①卒業生会員(終会費12,000円) ②特別会員(センター職員、職員OB 終会費12,000円) ③在学生会員(初年度2,000円入金→終会費12,000円まで次年度から1,000円×10回払) 連絡先：小滝 047-339-9325



### 囲碁クラブ <大学公認団体>

内容：対局を主体とし初心者には個別に指導 活動日：毎週木曜日 会員数：21名 会費：年会費1,000円入会金1,000円 連絡先：桑原 masatkuw@mtj.biglobe.ne.jp

### 千葉コンピュータユーザーズ <大学公認団体>

内容：パソコンの知識と操作技術の向上を目指し、日々努力と研鑽を積んでおり、パソコンを通じて充実した時間を楽しみと共に会員相互の親睦をはかること 活動日：月2～3回(13:30～15:30) 会員数：12名 会費：年間6,000円(6ヶ月3,000円) 連絡先：中込 043-278-5126 y-nakagome@rose.plala.or.jp